

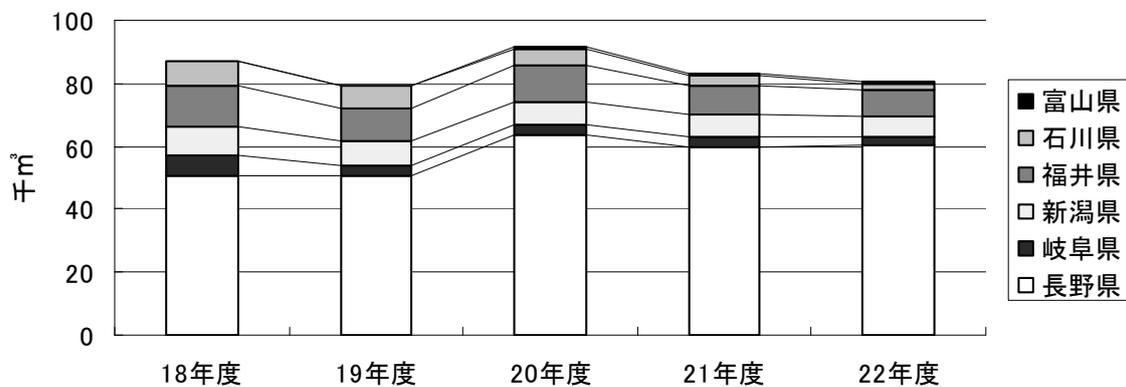
お客様各位



近県の松くい虫被害の傾向について

松くい虫被害（マツ材線虫病）の被害状況は、例年8月に前年度分が林野庁により取りまとめられ発表されています。平成23年8月11日に発表されたデータによると、平成22年度は全体としては21年度より2pt減でしたが、鳥取県や島根県、福岡県、佐賀県では約1.3倍に拡大しており、富山県でも3pt増となりました。北陸近県では概ね減少しており、約10pt程度減となっています。なお富山県は全国的にみても被害の少ない県ですが、これは県内のマツが量的に少なく、また不連続であることが関係していると言われております。

富山近県の松くい虫被害量(被害材積)の推移



	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	対前年比
富山県	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	103%
石川県	7.2	6.8	5.5	2.9	2.3	82%
福井県	13.5	10.4	11.9	9.5	8.5	89%
新潟県	9	8	7.1	7.2	6	84%
岐阜県	6.4	3.3	3.1	2.8	2.7	96%
長野県	50.6	50.4	63.6	60	60.5	101%

一本がマツ材線虫病にかかるとカミキリを媒介に周辺へ一気に拡大しますので、早めの対処が必要です。

また、先般「グリーンガード」をはじめとしたグリーンガードファミリーの効果持続期間が延長されましたが、以前施工されたマツにつきましては、施工時の薬効期間経過後に濃度検査を行い、再施工の要否を改めてチェックされることをお勧めいたします。

◆商品案内◆



グリーンガード・NEO (酒石酸モランテル剤) 90ml/本

- 高い防除効果の「グリーンガード」シリーズは、松枯れ予防剤の中でもトップシェアを誇っています。
- 樹体に直接注入するので、ドリフトなどの心配がありません。
- 一度施工すると予防効果は7年間持続します。
- 従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工でき、薬効の持続期間も長くなりました。

メーカー希望価格:2,600円/本